

NOBUTAKA YOSHIZAWA KOTO RECITAL ~NODE~

# 吉澤延隆 箏リサイタル

## ～ノード～

2023年

11月26日 [日]

14:30開場/15:00開演

トーキョーコンサーツ・ラボ

新宿区西早稲田2-3-18

早稲田奉仕園内 AVACOビル1F

東京メトロ東西線「早稲田」駅 2番/3b出口より六八幡神社方面へ徒歩6分

東京メトロ副都心線「西早稲田」駅 2番出口より徒歩10分

[プログラム]

ユハト・コスキネン

《薄氷》十七絃箏のために

委嘱新作・世界初演 《沈香の拡張》\*

エートウ・ランタ＝アホ

委嘱新作・世界初演 《Air dances》\*

ジャン・シベリウス

《8つの小品》

ペール・ヘンリック・ノルドグレン

《Dance》《Fluttering》

カイヤ・サーリアホ

《Couleurs du Vent》

プログラムは予告なしに変更になる場合がございます。

[出演]

吉澤延隆 (箏)

中澤 沙央里 (Vn.)\*

迫田 圭 (Vn.)\*

福田 道子 (Va.)\*

鈴木 皓矢 (Vc.)\*

[料金]

一般券: ¥4,000 (全席自由)

学生券: ¥2,000 (小学生以上・大学生以下)

[eチケット購入]



公式オンラインストアにて  
各券1割引でお求めいただけます。

[主催・お問い合わせ・チケット購入] 吉澤延隆箏曲研究所

[後援] フィンランド大使館 | 日本・フィンランド新音楽協会 | 東海大学教養学部芸術学科音楽学課程

[助成] Madetoja Foundation | スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団

# 吉澤延隆 箏リサイタル～ノード～

箏、三味線、尺八といった邦楽器の演奏家とフィンランド人作曲家の共同作業は、先進的な取り組みに思われるかもしれない。しかし、実は、1960年代以降に起こった「現代邦楽」時代を牽引していたアンサンブルグループ「邦楽四人の会」とフィンランド人作曲家のP・H・ノルドグレン(1944-2008)による共同作業が1974年に行われている。

この公演では、その最初の邦楽器とフィンランド人作曲家との出会いから半世紀が経とうとしている今、数多くの世界的な音楽家を育むフィンランドに注目し、邦楽器との最初の共同作業を行ったノルドグレンはもちろん、フィンランド音楽の祖ともいえるJ・シベリウス(1865-1957)、現代の作曲家として高名で、今年6月の訃報が世界中のファンを哀しませたK・サーリアホ(1952-2023)、そして、2018年から“新しい箏曲”をつくるための共同作業を行ってきたユハ T・コスキネン(1972-)氏と、デジタルネイティブ世代の若手作曲家で2021年のヘルシンキ現代オペラ芸術祭においてオペラ《眠る男》(台本:池田理代子)を手掛けたエートウ・ランタアホ(1992-)氏への箏と弦楽四重奏のための新作委嘱によるオール・フィンランド・プログラムで構成する。

「ノード」というコンセプトのもと行うこの取り組みは、“分断”や“分裂”といったフォルトラインでの衝突が起こっている今日の世界情勢や経済、市民社会の中で、私たち邦楽演奏者が、どのような音楽を演奏し、創り、これからの社会に何を発信していくべきか考える機会になるだろう。

吉澤延隆箏曲研究所代表 吉澤延隆



© TAMAKI YOSHIDA

吉澤延隆 (箏) Koto Nobutaka YOSHIZAWA

東海大学大学院芸術学研究所修士課程修了。第15回賢順記念全国箏曲コンクール第1位・賢順賞、宇都宮市より「うつのみや市民賞」、第10回「宇都宮エスパーナル賞」を受賞。13年CD「KOTO Nobutaka Yoshizawa」をリリース。16年より栃木県「とちぎ未来大使」に就任。21年より、異なる分野のアーティストや専門家をつなぐコンサート・プロジェクト「NOBU-LAB.」(ノブラボ)をスタートし、『大谷石蔵の響き〜とちぎ未来大使を迎えて〜』は令和4年度「厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財」に決定。現在、東海大学教養学部芸術学科非常勤講師、東京文化会館ワークショップ・リーダー、滋賀県立文化産業交流会館「邦楽専門実演家養成事業」講師。毎月28日は、ニューズレター「koto-nobu-log」をウェブ発刊中!



Photo by Pekka Lehtonen

ユハ T・コスキネン (作曲) Comp. Juha T. KOSKINEN

1972年、フィンランド生まれ。シベリウス音楽院にて作曲の修士課程を修了。「リヨン国立高等音楽院」、IRCAMで学ぶ。カレヴィ・アホ、パーヴォ・ハイニネン、カイヤ・サーリアホ、フィリップ・マヌリに師事。近年では2023年1月に、指揮者・新田ユリ氏率いる愛知芸大ウインドオーケストラによって、管楽器と打楽器のための《声心》(2010/23)が再演された他、日本では2022年に声明と弦楽三重奏のための「仏手柑」が世界初演され、2023年10月にはピアノのための「柳宿」が、東京で世界初演される。現在、愛知県立芸術大学作曲科客員教授。 <https://jtkoskinen.net/>



Photo by Kai Widell

エートウ・ランタアホ (作曲) Comp. Eetu Ranta-aho

2019年フィンランド国立ヘルシンキ芸術大学シベリウス音楽院音楽修士として優秀な成績を修め修了。2013年ガーナ国立ケーブコースト大学へ1 Semester、2016年より2017年東京音楽大学へ1年間の計2度の交換留学を経験している。2018年8月、Hvitträsk 室内楽芸術祭招聘作曲家。2018年フィンランド音楽財団、2019年スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団、フィンランド文化財団より1年間の助成金授与。2019年ラジオクラシック(フィンランドで最大のクラシック音楽専門ラジオ局)主催 テンポアワーズ作曲家部門受賞。マルティン・ウエゲリウス賞受賞。2021年、オペラ「眠る男」はヘルシンキ現代オペラ芸術祭に初演されて、池田理代子の台本に、ランタアホが音楽を作曲した。芬日協会、フィンランド音楽財団、フィンランド作曲家協会の資金を授与。2022年再びフィンランド文化財団より1年間の助成金授与。フィンランド作曲家協会とMusic Finlandの一員。



中澤 沙央里 (ヴァイオリン) \* Vn. Saori NAKAZAWA

桐朋女子高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。これまでにトンヨン国際音楽祭、中国ASEAN音楽週間、サイトウキネンフェスティバル 松本等に出演。また、セギカレッジ(マレーシア)、慶熙音楽大学(韓国)、上海音楽院(中国)等で客員講師を務めるなど後進の指導にもあたっている。2013年度トーキョーワンダーサイト・レジデントアーティスト。日本・フィンランド新音楽協会会員。神奈川県立相模原弥栄高校音楽科非常勤講師。



迫田 圭 (ヴァイオリン) \* Vn. Kei SAKODA

東京音楽大学大学院に給費奨学金を得て入学、修了。第28回市川市新人演奏家コンクール弦楽器部門最優秀賞。現在、おーけすとら・びとれ座にてコンサートマスターを務めている他、オーケストラトリプティーク、Malus Quintet、Green Room Playersにヴァイオリン、ヴィオラ奏者として在籍している。町田コダーイ音楽院、WE LOVE MUSIC、神奈川県立相模原弥栄高等学校にて講師を務める。



福田 道子 (ヴィオラ) \* Va. Michiko FUKUDA

桐朋学園大学音楽学部を経て、同大学研究科、桐朋オーケストラアカデミー修了。2013-14年、兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・プレイヤー。トリトン晴れた海のオーケストラメンバー。現在、国内オーケストラへの客演、また室内楽奏者としてバロックから新曲初演まで幅広く活動している。



鈴木 皓矢 (チェロ) \* Vc. Koya SUZUKI

桐朋学園大学チェロ科を首席卒業後、渡欧。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリン修士課程修了。小澤征爾音楽塾に参加。ラス・コルツ国際器楽コンクール入賞。日本チェロ協会主催「第9回チェロの日」にソリストとして出演。各地のオーケストラで客演首席を務める他新曲初演の場にも多く携わる。TRIO VENTUS、Eureka Quartetのメンバーとして国内主要ホールにて積極的な室内楽活動を展開中。

## [プログラム]

ユハ T・コスキネン

《薄氷》十七絃箏のために

委嘱新作・世界初演 《沈香の拡張》\*

エートウ・ランタアホ

委嘱新作・世界初演 《Air dances》\*

ジャン・シベリウス

《8つの小品》

ペール・ヘンリク・ノルドグレン

《Dance》《Fluttering》

カイヤ・サーリアホ

《Couleurs du Vent》

プログラムは予告なしに変更になる場合がございます。

## [料金]

一般券: ¥4,000 (全席自由)

学生券: ¥2,000 (小学生以上・大学生以下)

## [e チケット購入]



公式オンラインストアにおいて、各券1割引でお求めいただけます。

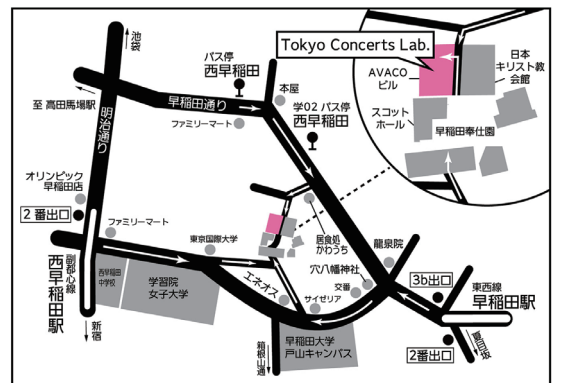
## トーキョーコンサーツ・ラボ

新宿区西早稲田2-3-18

早稲田奉仕園内 AVACOビル1F

東京メトロ東西線「早稲田」駅 2番/3b出口より穴八幡神社方面へ徒歩6分

東京メトロ副都心線「西早稲田」駅 2番出口より徒歩10分



[主催・お問い合わせ・チケット購入] 吉澤延隆箏曲研究所 ☎ 090-2499-8089 ✉ labo@nobutaka-yoshizawa.com

[後援] フィンランド大使館 | 日本・フィンランド新音楽協会 | 東海大学教養学部芸術学科音楽学課程

[助成] Madetoja Foundation | スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団